

根来山げんきの森倶楽部

令和5年7月作業日誌

活動日：令和5年7月16日(日) 9:30～15:30 天気：晴れ 倶楽部員：42人

梅雨明けから雨が少なく、猛暑続きの日々がまだまだ続きそうですね。げんきの森では虫たちが夏限定の美味しい樹液に押し寄せると同時に、秋の実りの準備を始めている木々がちらほら見られます。

紫陽花の剪定

Jさん指導の下8人で、紫陽花広場の紫陽花28株の剪定をしました。

最初に城さんが手作り資料を配布してくださり、高さは70cm位に揃えろとか、横に垂れすぎた枝は根元でカットする等4項目教えて頂きました。また樹形は扇形に整えるよう指導がありました。

剪定バサミを持って、実際に剪定を行いましたが、株が大きかったので最初のうちは、高さを優先するあまり葉がないツツルテンの見た目になり、これはあんまりかなと思って周囲の人がやっているのを参考にしながら、並んで生えている大きめのふた株を、高さが少し高くなっても、葉を残す様に剪定しました。次に移ろうと見渡すと、剪定は殆んど終わっていたのでカットした紫陽花の片付けと草刈りの草を片付けて、作業は午前中で終了しました。今日は天気も良く陽射しもきつかったので、適宜休憩を交えながら実施しましたが、青い空の下で汗を流すのも気持ち良かったです。(田屋 和之)

里山整備

今日はメンバー5人。まず、バリアフリートレイル沿いにあるアリマグミにかぶさってきてるヤマモモとタマミズキ枝を伐採しました。アリマグミが陰になって枝枯れが始まってきたので隣のヤマモモにロープを掛け、道路側に倒れないように注意しながら切り倒すと、そこは明るくなったので、来年はアリマグミの実もたくさんってくれるでしょう。

その作業が終わると、お昼までの余った時間を利用してバリアフリートレイル沿いに植栽したヤマザクラの草刈りを行いました。

午後は管理車のホオノキの植栽地を通り過ぎたあたりにあるアラカシの伐採を行いました。道にかぶさり、以前から気になっていた3本株立ちのアラカシです。太さは20cm前後でロープで引きながらなんとか処理していきます。伐採した木は炭材にするために1.2mに処理し、軽トラで炭焼き広場に運びました。

アラカシの最終処理は次回になります。また、お手伝いをお願いします。(岡田 和久)



炭出し

午前中は 10 名で炭材約 1.2T を炭材置場から炭窯に運び、炭窯の中へ炭材を挿入・配置していく作業を行いました。

午後からは女性 2 名が応援に加わり、炭窯を密閉する作業と薪割り作業に分担して行われました。

(桜井 敏雄)



うるし谷整備

本日は 6 名で作業にあたります。今日初めて K さんが参加してくれました。入り口から少し入ったところに斜面から道にかぶさるように倒木があり、これを T さんがチェーンソー片手に斜面を登り切り倒してくれました。それより上のややこしい木も切り倒してくれました。玉切した木を斜面よりおろして、手伝い 2 名が枝切りや幹を処理してくれました。

別の T さんが奥のウルシ植栽地の草刈りをしてくれました。他の 2 名も手伝いました。池の改修もしました。とにかく暑いので休憩を取りながら作業を行いました。

午後午前中に続いた作業を行いました。(吉田 恒臣)



げんきの森ペディア

～バッタ類最強の肉食バッタ～
バッタ目キリギリス科

藪に生息するキリギリス科のバッタであることからその名がつけられました。樹上生活を好み、雑食ですが成虫になると肉食性が強くなり、カマキリも食べてしまう強顎を持っています。

←げんきの森で樹液を吸っていたヤブキリ



今年はニホンミツバチが入ったごうらは少なかったのですが、一つ蜜切りをできそうな巣箱があったので、先日蜜切りを行いました。

蜜はたくさん入ってごうらは重いくらい。ゆっくりさげて動かすと巣板が全部落ちてしまいました。たくさん入った蜜が入っていたところに暑さで巣板が柔らかくなって持ちこたえられなかったのです。仕方なく、全部の巣板を回収してきました。集めた蜂蜜はまたみんなでくじ引きしましょう。お楽しみに。 岡田 和久